

古刻新韻

輯七

浙江人民美術出版社

本草圖譜
十

〔目〕 岩崎常正

古刻新韻

七輯

浙江人民美術出版社

本草圖譜 十

〔目〕 岩崎常正

本草圖譜卷之八十八目錄

灌木類

郁李

あけなみ

一

一種

あけなみ

二

種

三

鼠李

あづみ

四

種

あけなみ

女貞

あけなみ

五

種

六

冬青

あけなみ

七

種

あけなみ

八

一種

あけなみ

九

種

木芙蓉

十

枸骨

あけなみ

十一

衛矛

うきまき

十

一種

かきまき

十

一種

あきまき

十

山礬

かきまき

十五

一種

南燭

あきまき

十六

一種

紅あきまき

十七

一種

つうあきまき

十八

一種

いりあきまき

十九

一種

竹葉あきまき

廿

一種

廿

一種

いりあきまき

廿一

一種

あきまき

廿二

一種

うきまき物

廿三

本草圖譜卷之八十八

東都

岩崎常正 著

男

岩崎信正

門人

小山廣孝

校

灌木類

郁李

ありむめ

あむめ

州播

棠

李

事物異名

車下李ト郁李ト時珍併テ一トス非ナリ通雅ニ辨セリ役ス

庭際多ク栽小木あり高さ三四尺過根多ク叢生春新葉を生形李の葉似て小互生同時葉の長時葉の木蒼を生生開時五瓣白色紅を帯ひ大さ四五分許美後実を結形圓く大さ四五分初緑色夏月至り熟て赤色と味酸甘実の中核あり此核中の白仁を採て藥用とす

郁李
車下李



一種

玉梅 汝南
圖史 錦帶 通
雅

あめ
ざん

樹葉とてあめ
あめめ似て春日
葉の本あつ つぼみ 蒼を
生け開く時、数
十辨あり形状菊
花の如く淡紅色
あり美しく後実
を結ぶとひとと稀
に結ぶとまた形状
あめめと同じ



一
種

喜梅 汝南
圃史
千葉郁李 洛陽花
木記



樹葉とて小前条小
似て春月葉の木子蒼
を生に開く時の形状
又前条と同く白色
より後実を結ふより
も稀に結ふときり
形状よりむめの実と同



鼠李 そり あべめうー

うらむめうー 戸江

うーめうー 州甲

ゆめう 味ひ苦い 故名

うのうー 前越

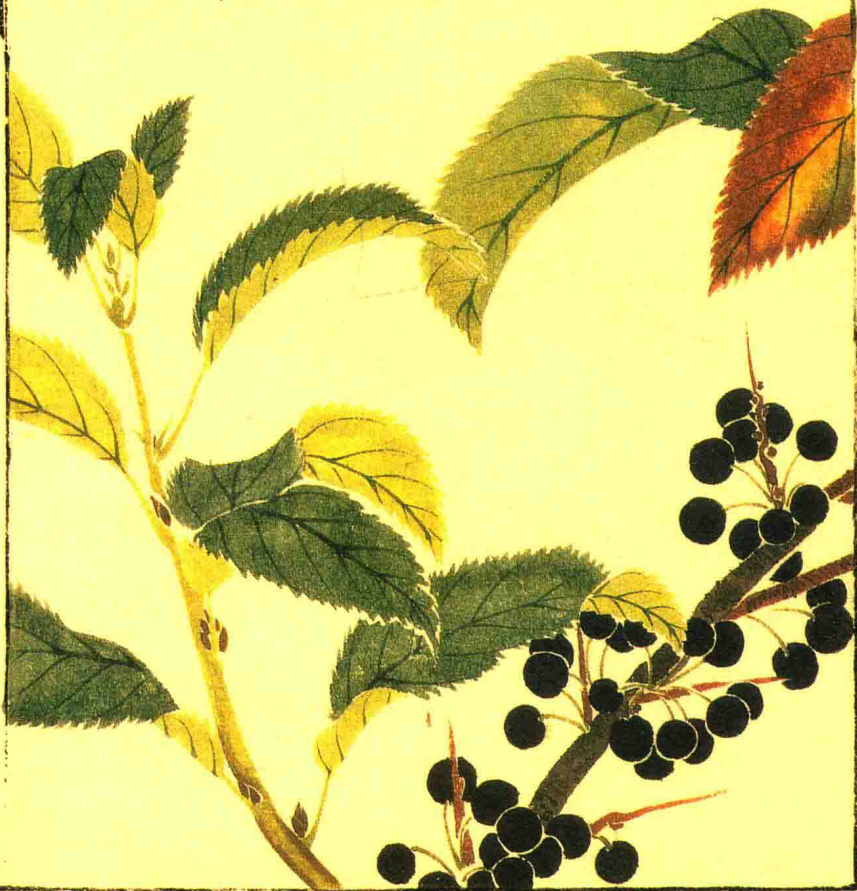
緑子 りやうこ 本経 逢原

蜀州鼠李 しゅうしゅうそり

備急本草



下総小金武州戸田木の
 原野に生け高さ七八
 寸あり葉の形李に似
 大に互生し利枝あり
 刺に似たり春月枝の
 間小く黄白色の
 花を攢簇し秋に
 実大なる形状
 被契の如く熟
 藍黒色となり中
 仁あり脂多し葉の味
 ひ酸く苦し毒ありと
 して綱目やく微毒
 あり



一種

くろくまめりくま京

葉の形せん前条せんじょうより
 至いたく小く春月新
 葉の本もと小く淡黄
 色の花を簇くさむす生なけ
 後実を結むす小形状
 前条より小く熟
 すとりの藍黒色と
 ある



女貞 メヅナ

ねつそりち 和名 釣

ふはふき 和本名 本草

たつのき 同上

やぶはな ユキハナ

ふはな ユキハナ

あやめ

いたし イタシ

水冬青 スイトウセイ 物理 小識

冬生 トウセイ 本草和名 引歌菜性

凍青樹 トウセイ 救荒 本草

樹高さ一丈余枝條繁茂一葉冬凋まり形冬青に似て兩頭尖う
枝葉對生一夏月枝の梢に穂を著し小き白花を攢簇し後実
を結ぶ圓く長くなり形龍の尿に似たり熟すと紫黑色と
あり

女メ
貞メ





一種

葉の形四角で先尖り、紋脈の間がうねり、皺の如く、摘み穂をみれば花を開く形、つみじの如く。



六 後実を結ぶ
四角で星の如く
熟するに黒
色とあり

冬青

ゆちのき

萬年枝 事物異名

長生 葉死詳註

萬年樹 群芳譜

萬年木 正字通

冬牆 江南國文

種類多し樹高丈余葉互生し形女貞より潤く厚く光沢あり
横に皺紋あり平らなり冬月を經て凋まらば夏月葉の間小五辨
の小さな白色の花を簇として後実を結ぶ花は綠色熟すれば赤色と
なり形櫻の実の如し